

～川越散策（小江戸、川越観光）実施報告～

日 時： 2024 年 6 月 8 日（土） 10:00 集合～16:00 解散

場 所： 本川越駅集合 ⇒ 琵琶島 ⇒ 野島 ⇒ 称名寺 金沢文庫駅解散

参加者（敬称略）： 山崎、水野、佐藤(松雄)、佐藤(秀)、生沼、片山

ゲスト（留学生）： Vicente (from チリ)、Owen (from USA)

会 費（含昼食代、見学料）： 男性 5,000 円、女性 4,000 円、ゲストは無料

時間通りに参加者全員が集合しましたので、計画どおりに散策スタートしました。
天気は良好で日差しが強い週末になりそうと覚悟決めていましたが、当日はかなりの夏日でした。

江戸の情緒を今に残し、明治、大正、昭和、平成、令和の4つの時代を体験でき、歴史的建造物や文化財、四季折々の自然を楽しみながらの休日でした。

参加者は8名で1週間前に来日した留学生二人が飛び入り参加、一人はチリからの Vicente、もう一人はアメリカからの Owen で共に 16, 17 歳の少年です。貼付写真をご覧くださいますがイメージの16歳よりずっと大人に見えます。

日本の文化、歴史に興味がある二人でしたので、まずは川越氷川神社に立ち寄り、途中で地元の方が安来節の踊りを披露しているところに遭遇して、日本古来の“どうじょうすくい”の踊りを興味深く観覧しました。

少し歩くと川越のシンボル、「時の鐘」鐘つき堂に到着、約400年前に創建されて依頼、度重なる火災で建て替えられながらも、今も川越の街に時を知らせているそうです。素晴らしいですね。

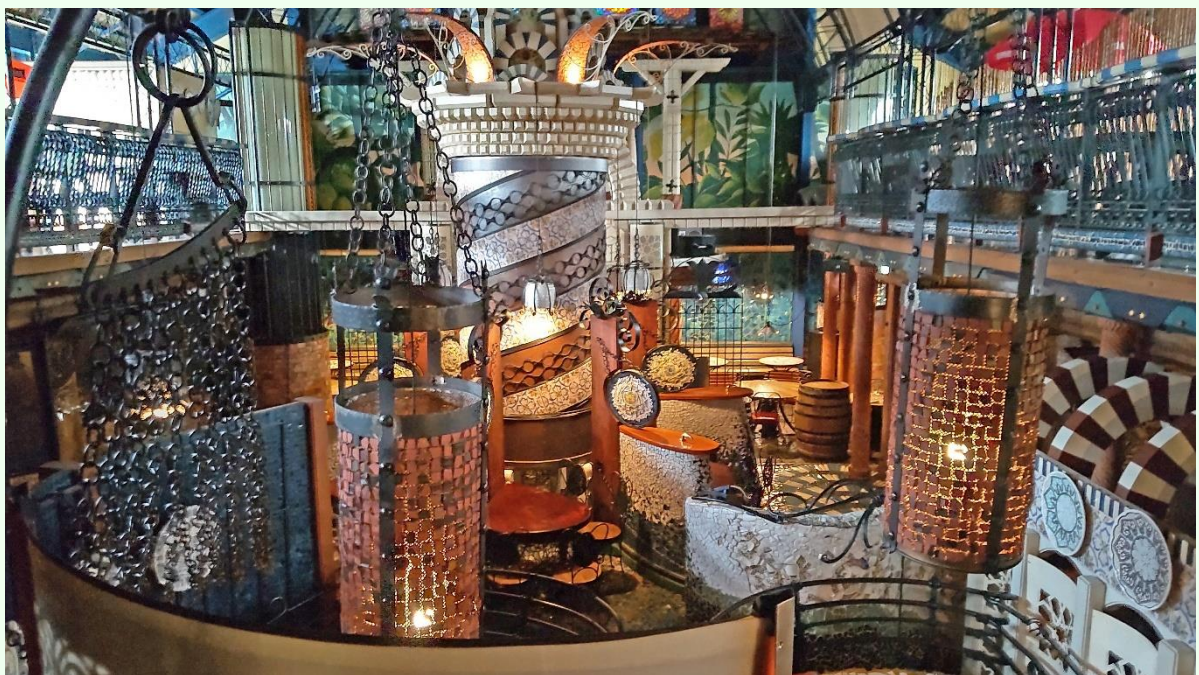


それから川越まつり会館に立ち寄り、祭りに関する山車などが展示されている会館内をまわりました。川越のまつりの賑やかさが感じられました。

ランチのレストランは片山さんがネットで予約してくださったのですが、市街からの距離的感覚が掴めず、ひたすら1時間以上歩くことになってしまった末に、なんとか無事に目的のレストラン「すぺいん亭」にたどり着くことができました。



少々遅いランチになりましたが、留学生を含め「パエリア」ランチの美味しさに満足し、幸せ感いっぱいでした。



「すぺいん亭」は、店内がスペインの国を模倣したデザインになっており、不思議な雰囲気でのランチタイムとなりました。

真夏日の川越散策でした。

日本ニュージーランド協会会長 山崎弘子